

平成28年度事業計画書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

公益社団法人 顔と心と体研究会

1. 重点施策

今年度の本法人の事業の重点施策は以下のとおり。

- ①調査研究活動の実施及びその成果を広く社会に活用されるよう公開する。
- ②メイクボランティア及びメイク講座の実施により社会貢献活動の拡大を目指す。
- ③メイクボランティア活動を円滑に行うためのメイクボランティア講習会を開催する。
- ④外観先端医療に関するシンポジウムを開催する。
- ⑤情報の発信として会報誌を発行する。
- ⑥医療現場でのメイクの提供を視野に入れた検定制度(資格認証事業)を検討するため、検定制度検討委員会を立上げ、早急に検定制度を立案し、内閣府に対し、公益目的事業の内容の変更を申請する。

2. 調査研究事業

メイクボランティア及びメイク講座の実施により、メイクを通じた社会貢献活動の拡大を目指すとともに、その活動依頼先との協力関係によって、アンケート調査または認知症の症状に対するメイクの効果等の調査研究の実施拡大を目指す。その成果は、公開講座、シンポジウム、学会等で発表するほか、調査研究報告書、ホームページ、会報誌を通じて広く社会に活用されるよう公開する。

(ア) 調査研究活動

- ① 「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方のQOL向上の試み」
文化学園大学応用健康心理学研究室 精神保健学 佐藤浩信教授との共同研究
(文化学園大学学内の競争的研究資金の提供を受ける(平成27年4月～29年3月迄の2年間))。

期間：平成28年7月～29年3月迄の間の奇数月第四土曜日(計5回)を予定

内容：メイクボランティアに参加したメイクの施術者のメイクボランティアの前後において、生きがい感、自尊感情、ストレス認知などの自記式質問紙を用いた心理学的手法(佐藤教授推奨の調査方法を導入)と簡易的な生理指標によるストレス評価を通して、関わりの意識の向上を含めた長期的変化について考察する。

対象：文化学園大学応用健康心理学研究室の学生を中心とした、研究協力に賛同いただける18歳～24歳10名未満を予定。

協力先：社会福祉法人緑成会「緑の郷」一箇所を予定(神奈川県横浜市青葉区)

方法：(※研究の途上であるため公表を控えます。)

成果の報告：以下を検討。

- ・文化学園大学内研究会及び紀要論文
- ・ファッションビジネス学会(学会誌・発表)
- ・日本健康心理学会(学会誌・発表)など

② 「化粧によるストレス軽減に関する長期的効果」

平成 27 年度（27 年 3 月～28 年 3 月迄の 1 年間）に「化粧によるストレス軽減に関する長期的効果」をテーマとした調査研究の集計と考察をまとめ、その成果の公開先を具体的に検討する。

(イ) メイクボランティア

メイクボランティア訪問 100 回/1 年 22 都道府県にて開催

(ウ) メイクボランティア講習会

東京・大阪 それぞれで年 2～3 回程度を予定

(エ) メイク講座・セミナー・講演

① 更正保護法人「両全会」でのメイク講座

場所：東京都渋谷区代々木神園町 3 番 40 号

対象：法務省より依頼を受けた更生施設に入居する、自立を目指す女性

テーマ：就職支援を目的としたセルフメイク講座の提供と指導

講師：正会員 箕浦裕子、正会員 中島和江

理事長 内田嘉壽子（1 月開催時のみを予定）

日程：平成 28 年 4 月 20 日、7 月 20 日、10 月 19 日、2017 年 1 月未定

その他、行政機関や教育機関の依頼時期やテーマに応じた内容を適宜開催予定

3. 普及啓発事業

「顔と心と体」のつながりをテーマに社会に化粧が与える効果を広く普及啓発をすることを目的とした公開講座、及び一般の人に外観の先端医療に関する情報をわかりやすく解説し「顔・心・体」の各専門家と一般の人が共に考える機会を提供するシンポジウムを隔年で開催している。平成 28 年度はシンポジウムを開催する予定。

【第 11 回 外観先端医療シンポジウム】

テーマ：『『食べる』ということ～拒食症から肥満まで～』（仮題）

日 程：平成 28 年 10 月 15 日（土）（仮）

出演者：鈴木真理（政策研究大学院大学教授）、他 1 名を検討中

司 会：堤信子（フリーアナウンサー・昭和女子大学非常勤講師）

会 場：政策大学院大学

4. 情報誌等発行事業

ホームページ・会報誌等による情報の発信

メイクボランティア・メイク講座での調査研究の成果や公開講座・シンポジウムで論じられた内容を普及啓発することを目的として、ホームページ・会報誌等による情報発信を実施する。

(ア) 会報誌の発行

年 2 回程度発行

(イ) ホームページの運用

メイクボランティアの参加及び事業活動への協力者募集にも活用する。

5. その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

(ア) 医療現場でのメイクの提供を視野に入れた検定制度（資格認定事業）を検討するため、検定制度検討委員会を立上げ、早急に検定制度を立案し、内閣府に対し、公益目的事業の内容の変更を申請する。

(イ) 会計処理規程など、公益法人の運営に必要な規約規程類を整備する。

6. 活動財源は、寄附金、会費等を充当する予定

以 上

平成28年度 収支予算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額 (平成27年度通期)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	2,040,000	2,040,000	0
正 会 員 受 取 会 費	1,800,000	1,800,000	0
賛 助 会 員 受 取 会 費	240,000	240,000	0
事 業 収 益	900,000	800,000	100,000
公 開 講 座 ・ シ ン ポ ジ ウ ム 事 業 収 益	200,000	200,000	0
メ イ ク ボ ラ ン テ ィ ア 事 業 収 益	500,000	500,000	0
メ イ ク 講 座 事 業 収 益	200,000	100,000	100,000
受 取 寄 付 金	14,700,000	12,150,000	2,550,000
受 取 寄 付 金	14,700,000	12,150,000	2,550,000
雑 収 益	1,000	1,000	0
受 取 利 息	1,000	1,000	0
雑 収 益	0	0	0
経常収益計	17,641,000	14,991,000	2,650,000
(2) 経常費用			
事 業 費	11,941,000	5,781,000	6,160,000
給 料 手 当 費	6,300,000	1,500,000	4,800,000
福 利 厚 生 費	650,000	0	650,000
会 議 費	200,000	100,000	100,000
旅 費 交 通 費	590,000	180,000	410,000
通 信 運 搬 費	740,000	740,000	0
消 耗 品 費	1,000,000	1,000,000	0
印 刷 製 本 費	800,000	800,000	0
賃 借 料 金 費	300,000	300,000	0
諸 謝 託 金 費	600,000	600,000	0
委 託 手 数 料	500,000	500,000	0
支 払 手 外 費	11,000	11,000	0
渉 外 費	200,000	0	200,000
雑 費	50,000	50,000	0
管 理 費	5,634,500	9,174,900	-3,540,400
給 料 手 当 費	1,200,000	3,800,000	-2,600,000
福 利 厚 生 費	100,000	506,400	-406,400
会 議 費	100,000	100,000	0
旅 費 交 通 費	60,000	336,000	-276,000
通 信 運 搬 費	300,000	300,000	0
減 価 償 却 費	94,500	94,500	0
消 耗 品 費	240,000	240,000	0
印 刷 製 本 費	30,000	0	30,000
光 熱 水 料 費	150,000	150,000	0
賃 借 料 金 費	1,200,000	1,488,000	-288,000
委 託 手 数 料	1,500,000	1,500,000	0
支 払 手 外 費	620,000	620,000	0
雑 費	40,000	40,000	0
経常費用計	17,575,500	14,955,900	2,619,600
評価損益等調整前当期経常増減額	65,500	35,100	30,400
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	65,500	35,100	30,400
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	65,500	35,100	30,400
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	65,500	35,100	30,400
一般正味財産期首残高	1,361,224	1,326,124	35,100
一般正味財産期末残高	1,426,724	1,361,224	65,500
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,426,724	1,361,224	65,500

資金調達及び設備投資の見込みについて

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 顔と心と体研究会

1. 資金調達

活動の経費は、会費、寄付金、メイクボランティア事業の収益等により賄う予定（平成 28 年度収支予算書参照）。

当期中における借入れの予定はない。

2. 設備投資

当期中における有形無形の固定資産等への重要な設備投資（除却又は売却を含む。）はない。

以 上